

2020年 4月 22日

2019年度 総合文化研究所研究助成報告書

研究の種類 ※該当する()に ○を付ける	・共同研究(○) ・個人研究()	
研究代表者 (所属・職・氏名)	文芸学部文芸学科・教授 岡田ひろみ	
研究課題名	共立女子大学図書館所蔵の古典籍の調査・整理・研究 —日本文学・日本美術を中心に—	
研究分担者氏名	所属・職	役割分担
岡田ひろみ 菅野扶美 内田保廣 咲本英恵	文芸学部 教授 短大・文科 教授 文芸学部名誉教授 文芸学部非常勤講 師	和本調査・整理・研究(中古)、全体統括 和本・絵入り本研究(中世)、書誌事項確認 和本調査・整理・研究(近世)、書誌事項確認 和本調査・整理・研究(中古中世)、撮影・画像整理
研究期間	2019年4月1日 ～ 2020年3月31日	

研究実績の概要(1)

1) 本学図書館所蔵の古典籍、下記11件について、研究代表者及び分担者、協力者による調査を実施し、撮影を行った上で、目録を作成し、展示を合わせて行った。

[調査対象資料](目録掲載順)

①竹取物語絵巻上下巻(W721.2/2/1~2)

②伝上冷泉為頼筆『伊勢物語』(W913. 32/27)

③『湖月抄』三冊 「よもぎふ」(W913.36/1037)、「てならひ」浅黄色表紙(W913.36/1035)、「てならひ」(胡桃色表紙(W913.36/1036)

④『今物語』(W913. 4/144)

⑤伝里村紹巴筆『仮名文字遣』(W811/110)

⑥『古今和歌集』(W911.13/75)

⑦『金葉和歌集』(W911/13/51)

⑧伝一位局筆『千載和歌集』上下巻(W911/13/52/1~2)

⑨十三代集 全二十冊(W911/145/2/1~W911/145/2/20)

⑩伝藤原公修『源順馬名合』(W911/13/53)

⑪『自讃歌』(W911/14/78)

[目録]

「共立女子大学図書館所蔵貴重和書展示目録 本の見た目をたのしむ」(A4フルカラー全8頁)

[目録執筆担当者]

- ①山本聡美（協力者：早稲田大学文学学術院教授、本学非常勤講師）
- ②⑤⑧⑩⑪ 咲本英恵
- ③内田保廣
- ④菅野扶美
- ⑥⑦⑨ 岡田ひろみ

[展示]

- ・展示名 「本の見た目を楽しむ」
- ・期間 2019年5月13日（月）～5月31日（金）
- ・展示内容 上記①～⑪の本を、本館1階ロビー及び、一部本学博物館内で行った。
- ・来場者 本学学生・院生、ならびに教職員だけでなく、中古文学会と会期を重ねたこともあり、200名を超える外部の来場者に、ひろく本学の古典籍（和本）を紹介することができた。
- ・今後は、本学紀要等での詳細な調査紹介などさらなる研究を検討している。

[マイクロスコープによる料紙観察]

マイクロスコープ（顕微鏡）を用いて料紙を撮影及び観察し、白戸真喜子氏に「共立女子大学図書館所蔵古典籍の料紙観察に関する報告書」を執筆いただいた。詳細は紀要に掲載する予定だが、例えば、真筆に多く用いられていることが指摘されている青色繊維が本学所蔵の和本にも見いだせる等、繊維観察により、極札の信用性を裏付けることができる。

2) 教材としての活用

1) の展示に際して、文芸学研究科の大学院生や文芸学部の学生に手伝いを依頼した。展示に必要な作業について学ぶ機会となったかと思われる。また、研究代表者や研究分担者が担当する「日本文学講読 A01～03」でくずし字を学ぶ学生が実見する機会としても活用できた。

3) 研究会の開催

2019年12月5日（木）、本研究にかかわる和装本の料紙についての情報交換、共有の場として研究会を行った。学外講師として白戸真喜子氏（実践女子大学文芸資料館客員研究員・本学非常勤講師）を招へいし、「新しい書誌学 和装本の料紙の世界」と題する講演を依頼した。

4) 共立女子大学・短期大学図書館八王子所蔵の貴重書の調査・整理

『共立女子大学図書館所蔵 和装本目録—第一』（平成8年）をもとに、書誌事項の確認・追加調査を行った。目録掲載書籍に関しては約3分の2を終えているが、残り3分の1及び、目録に未掲載の平成8年以降購入図書については、新型コロナウイルスの影響もあって調査することが叶わなかった。状況が好転次第引き続き調査をしてゆく。

以上